



接助(順・確定)名 副 名 格助(引用)動(ラ四・連用)助動(存続・未然)接助(順・仮定)ば、 弁慶、 「そもそも 判官殿 と 知り たら ば、

形動(ナリ・連用)動(サ四・連用)接助(尊敬・命令)格助(引用)動(ハ四・連用)助動(過去・已然)確かに 指し 助動(過去・已然)のたまへ。」と 言ひ けれ

接助(順・確定)形(シク・連用)代名 格助(体修)名 係助(強意)名 助動(断定・連用)接助(順・確定)ば、 「まさしく あ の 格助(体修)名 客僧 こそ 判官殿 に 接助

補動(尊敬・連用)助動(詠嘆・已然)格助(引用)動(サ四・連用)接助(強意)動(謙讓・連用)助動(過去・連体)おはし けれ。 「 と 指し 係助(強意)動(謙讓・連用)助動(過去・連体)申し ける。

代名 格助(体修)名 名 代名 係助(提示)名 格助(起点)動(ラ下二・連用)助動(完了・連体)〈接頭〉名 その とき 弁慶、 「あれ は 白山 より 連れ たる 御坊

助動(断定・終止)名 形(ク・連体)格助(拠所)動(ラ四・連用)名 動(マ下二・連用)補動(謙讓・連体)名 なり。 年 若き に より 人 怪しめ 申す 無念さ

終助(詠嘆)代名 格助(起点)名 格助(方向)動(ラ四・連用)補動(丁寧・命令)格助(内容)名 格助(起点)よ。 これ より 白山 へ 戻り 候へ。 「 とて、 舟 より

動(サ四・連用)名 格助(手段)形動(ナリ・連用)動(サ下二・連用)助動(完了・終止)代名 格助(体修)名 引き下ろし、 扇 にて 散々に こき伏せ たり。 その とき

名 名 副助(程度)形(ク・連体)名 係助(提示)形(ク・終止)名 助動(断定・連用)接助(順・確定)渡し守、 「羽黒山伏 ほど 情けなき 者は なし。 判官殿 に 接助

補動(尊敬・未然)助動(打消・未然)接助(順・仮定)副 助動(断定・連用)接助(強意)補動(ラ変・連体)ましまさ ず は、 さ に てこそ ある

助動(推量・連体)終助(詠嘆)副 形(ク・連用)形動(ナリ・連用)動(ラ四・連用)補動(謙讓・未然)べき よ。 かほど いたはしげもなく、 散々に 当たり 申さ

助動(尊敬・連用)助動(過去・連体)名 副 代名 格助(主格)動(タ四・連用)補動(謙讓・連用)れ し こと、 かしながら 私 が 打ち 申し

助動(完了・連体)助動(断定・終止)〈接頭〉形(シク・連用)係助(強意)補動(丁寧・已然)格助(内容)名 格助(対象)たる なり。 御いたはしく 候へ。 「 とて、 舟 を

動(サ下二・連用)代名 格助(方向)動(尊敬・連用)補動(丁寧・命令)格助(内容)名 格助(体修)名 寄せ、 「こゝへ 召し 候へ。 「 とて、 楫取り の そば

格助(場所)動(サ下二・連用)補動(謙讓・終止)に 乗せ 奉る。

接続 名 動(サ四・連用)接助(順・確定)動(ラ四・連用)補動(丁寧・命令)格助(引用)動(謙讓・連用)「ゆひば、 船賃 出だし て 渡り 候へ。 「 と 申し

助動(過去・已然)接助(順・確定)名 代名 格助(体修)名 格助(理由)名 格助(主格)名 けれ ば、 弁慶、 「いつ の 習ひ に 山伏 の 関船賃

動(サ四・連体)名 係助(反語)動(ラ変・連体)格助(引用)動(ハ四・連用)助動(過去・已然)接助(順・確定)なす こと や ある。 「 と 言ひ けれ ば、

副 動(ラ四・連用)助動(完了・連体)名 形(ク・已然)接助(逆・確定)副 名 格助(主格)「日ごろ 取り たる こと なけれ ども、 あまりに 御坊 の

形(シク・連用)動(ラ四・連用) + 補動(丁寧・已然)接助(順・確定)格助(引用)動(謙讓・終止)名 腹あしく 渡り 候へ ば。 「 と 申す。 弁慶、

形動(ナリ・連用)代名 〈接尾〉格助(対象)動(ラ四・未然)接助(順・仮定)名 格助(方向)名 名 「かやうに 我ら に 当たら ば、 出羽の国 へ 今年 明年

格助(時間)代名 格助(体修)名 格助(体修)名 動(ヤ下二・未然)助動(打消・連体)名 係助(提示)副 に ころ の 国 の 者 越え ぬ こと は よも

動(ラ変・未然)助動(打消推量・終止)名 坂田の渡り は、 係助(提示)代名 格助(体修)名 名 格助(体修)名 父、 あら じ、 じ、

